

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月10日

計画の名称	災害に強い下水道事業（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島市												
計画の目標	巨大地震、津波、大雨などの大災害に備え、下水道施設の地震対策、浸水対策を図り、安全で安心なまちをつくる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,900	A	10,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	地震、津波に対して対策が必要と判定された管理棟の耐震化実施率を増加させる。 耐地震、耐津波対策実施率 地震、津波に対して対策を講じた管理棟 / 対策が必要と判定された管理棟（5施設）	0%	20%	80%
2	耐震化が必要と判定された管路延長に対する耐震化実施率を増加させる。 老朽管路の耐震化実施率 耐震化実施延長（m） / 耐震化が必要と判定された管路延長（6,800m）	0%	100%	100%
3	マンホールの浮上抑制により交通機能を確保する。 マンホールの浮上抑制率 浮上抑制実施数（箇所） / 浮上抑制対策必要数（37箇所）	0%	0%	100%
4	浸水常襲地区における床上・床下浸水解消面積の割合を増加させる。 床上・床下浸水面積解消率 事業実施による床上・床下浸水解消面積（ha） / 深刻な浸水被害が発生している地区（2,000ha）	30%	37%	45%
5	浸水想定区域図が未作成の地区に対する作成割合を増加させる。 浸水想定区域図作成率 作成完了地区数（地区） / 作成必要地区数（25地区）	40%	60%	75%
6	雨水ポンプ場で改築が必要と判定された主要設備数に対する改築実施率を増加させる。 雨水ポンプ場の主要設備改築実施率 改築実施設備数（箇所） / 耐用年数を大きく経過している改築が必要と判定された主要設備数（50箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処理場	改築	水資源再生センター耐震化事業(西部水資源再生センター管理棟ほか4箇所)	耐震補強工事(4処理区)、耐震、耐津波診断(3処理区)、耐震化実施設計(3処理区)	広島市						850		-	
	A07-002	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(合流)	改築	下水道管きょ耐震化事業(中区ほか3区)	L=6,800m	広島市							1,310		-
	A07-003	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(合流)	改築	下水道管きょ耐震化事業(南区)	マンホールの浮上抑制 37箇所	広島市							30		-
A07-004	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ場	新設	雨水ポンプ場整備事業(新宇品ポンプ場ほか1箇所)	放流渠 L=350m、ポンプ設備 一式	広島市							2,200		-	
A07-005	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(雨水)	新設	雨水幹線整備事業(旭町2号幹線ほか13路線)	貯留管等 L=2,400m	広島市							4,800		-	
A07-006	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠(雨水)	新設	浸水想定区域図作成事業(中区ほか7区)	浸水想定シミュレーション	広島市							110		-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場改築事業(吉見ポンプ場ほか19箇所)	機械設備、電気設備 一式	広島市						1,600		策定済
		長寿命、ストック																	
											小計						10,900		
											合計						10,900		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

広島市（計画調整課）

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

広島市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

巨大地震、津波、大雨などの大災害に備え、下水道施設の地震対策、浸水対策を実施し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

令和2年度以降も新たな社会資本整備総合計画（安全かつ強靱な下水道事業（防災・安全）（重点計画））において、引き続き防災・減災のための施設整備を推進し、安全・安心に暮らせる生活基盤を整備することとしている。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	耐地震、耐津波対策実施率	
	最終目標値	80%
	最終実績値	80%
2	老朽管路の耐震化実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	マンホールの浮上抑制率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	床上・床下浸水面積解消率	
	最終目標値	45%
	最終実績値	45%
5	浸水想定区域図作成率	
	最終目標値	75%
	最終実績値	72%
		一部地区において、浸水対策施設の整備完了後に浸水想定区域図の作成を行うよう見直しを行ったことによる減少

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	雨水ポンプ場の主要設備改築実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	110%
		雨水ポンプ場の改築を優先することとしたことによる増加